



金沢シーサイドタウン

所在地：金沢区並木一丁目、並木二丁目、並木三丁目



市の六大事業の一つ「金沢地先埋立事業」により、1970年代から造成された。中でも並木一丁目エリアは榎文彦をマスターアーキテクトとし、街の外側を取り囲むループ道路と広い並木道、高さに強弱をつけた建物群、足元に配置された空地等街全体がデザインされている。公園として整備された旧富岡漁港跡には心地良い親水空間が広がっており、並木二丁目エリアの中心6街区は4人の建築家により个性的かつ周囲と調和した建物が建てられ、軸となる緑に囲まれた歩行者専用道路を人々が行き交っている。

